

今号では、私たち法人が手をかけてきた生産物が「雨にも負けず、風にも負けず」育ってきた様子について、取材しました。

実りの秋を迎えて

実りの秋を迎えつつある瀬郷・打戻地域です。

ブドウの収穫

瀬郷にある、元祖メイブの郷といえる圃場におじゃまして、収穫したブドウの選別作業のお手伝いをさせていただきました。黙々と作業し、あっという間に午前中が過ぎました。

【ブドウの選別作業・実地訓練の様子：22年8月30日：於(株)ショーナン圃場】



稲の収穫

10月20日（木）すがすがしい気候の中、賃貸の田圃で稲刈りを行いました。
理事長を筆頭に、一人ひとり手を添えてみんなで収穫しました。

就労サービス利用者の皆さんだけでなく、生活介護サービスを利用されている皆さんも参加して下さいました。皆さん、今まで経験したことのない稲刈りに笑顔で挑戦されていました！視覚障害のある方々も参加して、介助を受けながらではありましたが、無事稲を刈ることができました。翌朝には「昨日は、お疲れ様でした！」と元気に挨拶。十分に楽しい時を味わっていただいたと思います。



介護の必要な方々も一緒に稲刈りを楽しんでもらうことができました！田圃をお借りできたことによって新しい、サービス提供に発展しています！



かわうそ農園 ブドウ圃場を振り返る。

3月の植樹から半年が経ちました。ブドウの苗木の成長を振り返ってみました。
6月には苗木の成長に加え、雑草も半端なく成長しました。



7月から9月は週1回のペースで猛暑の中、草刈りが必須。コガネムシ対策も大変でした。



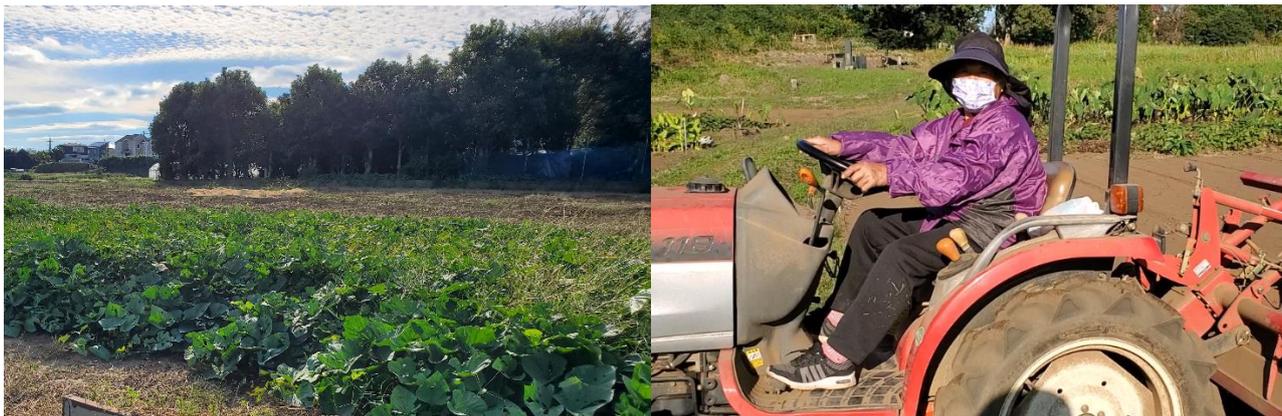
9月の台風で苗木が倒され、ワイヤーを張り、枝を誘引しました。小さな実を結びました。
10月下旬には葉も枯れ始め、冬眠が近づいています。来春の芽吹きが楽しみです。



農地をお借りしている農家の方をご紹介します

和田静江様

和田様は、打戻地区で主に野菜類を栽培されておられます。春の菜の花から空心菜、タアサイ、青梗菜、ワサビ菜、ネギ、サトイモ、等々年間を通して多品種の野菜類を栽培されています。野菜は、光友会の無人販売所へも提供していただいています。また、光友会主催の「地域の縁側かわうそ」にも編み物や体操で参加されていて、福祉施設との交流もさせていただいています。光友会の近くに畑をお持ちで、今回お借りすることができました。和田様にとっては煩わしい草刈から解放され、光友会にとっては畑を広げることができます。お借りした畑では現在サツマイモを栽培中。根野菜を中心に種類を広げていく予定です。



かわうそ農園 ボランティアさんをご紹介します

長嶋真美様

長嶋様は、ピアニストで練馬を中心に歌声サークル「ふらっとおんがくたいむ」を主宰され、ピアノや合唱の指導をされています。また歌声喫茶「ともしび」の伴奏ピアニストもされています。ご多忙中、練馬から2時間かけてかわうそ農園に来ていただき、ブドウ畑の草刈や苗木の誘引作業のお手伝いをいただいています。仕事を離れて自然の中で過ごすことが心地よいとのこと。ブドウの収穫祭では是非かわうそ農園で演奏会を開きたいと思います。



編集後記 実りの秋を思いつつ、盛りだくさんの内容になりました。農業に触れ合う利用者さんの姿、そして、まわりで力を貸して下さる方々もご紹介していきたいと思います。(Tachan)